

## 令和3年度事業計画

シルバー事業の大きな目的は、元気で就労意欲にあふれた高齢者に対して臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な就業を組織的に提供し、「自主・自立、共働・共助」の理念のもと就業を通じて生きがいの充実を図っていくことです。

また、人は何歳になっても、社会と繋がっていることが大切で、人と接することで、適度な刺激を受け、日々いきいきとした生活を送ることができるとも言われていますが、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、あらゆる分野での自粛や休業が求められ、当センターにおきましても多くの就業が休止、あるいは廃止され、会員の就業機会が減少しています。

一方で、シルバー人材センターの重点課題の一つに会員の拡大がありますが、少子高齢化が一層進展している中にありながら、当センターにおいては平成22年度をピークに減少の一途となっており、辛うじて1,000人を維持しているところです。

センターにおきましても、会員ニーズをふまえた就業開拓や会員相互の交流活動の充実等、様々な取り組みを実施しているところですが、改正高年齢者雇用安定法の影響もあって新規入会者の減少は否めない事実であり、会員数の減少と在会会員の高齢化が急速に進んでおり、契約金額も年々減少し、当センターの事業運営は厳しい状況となっています。

しかしながら、健康で働く意欲のある高年齢者が社会の担い手として地域社会を支えていくことは極めて重要であり、シルバー人材センターの果たす役割は大きく期待されているところです。これまでに築いてきた信頼をさらに深め、地域社会や発注者のご協力をいただきながら、会員の皆様とともに乗り越えて行きたいと思っています。

令和3年度も引き続き、第2期中期計画に基づき、「会員の拡大」「就業機会の確保・拡大」「安全・適正就業の推進」「普及啓発活動の推進」「事業運営基盤の強化」を基本方針に位置付け、次の事業実施計画を推進してまいります。

## 事業実施計画

### 1 会員の拡大

センター事業の拡大のためには、会員の確保が不可欠です。センター事業の更なる発展のため、会員拡大に取り組んでまいります。

#### ① 新規会員の拡充

入会説明会を定期的を開催するとともに、「会報ちきり」や「広報きしわだ」に会員募集の記事を掲載します。

会員の「ロコミ」によるセンター事業の周知活動を奨励し、新規会員の加入を勧める。

ハローワークと連携し、ハローワークの窓口に来る高齢者に会員募集のチラシでシルバー人材センターへの案内をしてもらおう。

#### ② 退会会員の減少

未就業会員への就業紹介や同好会活動による仲間づくりを応援します。

#### ③ 女性会員の入会促進

男性に比べ入会率の低い女性の入会促進のため、保育や介護など女性が得意とする分野の就業開拓に積極的に取り組みます。

### 2 就業機会の確保・拡大

就業機会の確保・拡大は、会員の拡大とともにセンターの更なる発展のために重要です。引き続き就業機会の確保・拡大に努めます。

#### ① 受注体制の整備

継続業務については契約書・仕様書を締結し、植木剪定や草刈りなどの単発業務についても見積書を作成するよう努めます。

#### ② 新規受注の開拓

就業開拓推進員が一般家庭や事業所を訪問し、新規受注の開拓に取り組みます。市役所や企業には役職員が訪問し、新規受注の開拓に努めます。

#### ③ 新規分野への参入

今後需要が見込まれる介護・保育・派遣事業・空き家管理などの新規分野への参入に取り組むとともに、会員自らが就業機会を確保するため、自主的・自立的運営が可能な独自事業を研究します。

### 3 安全・適正就業の推進

毎年、残念ながら就業中や就業途上の事故が発生しています。事故「ゼロ」を目指して、会員の安全意識の高揚と安全対策に努めます。

#### ① 安全就業の徹底

健康管理や体力づくりなど会員の啓発を図り、安全パトロールを毎月実施し、職場環境の改善や安全意識の向上を図ります。

#### ② 適正就業の遵守

「適正就業に関する要綱」に基づき、就業時間や就業日数の遵守、同一職種・

同一就業場所での就業継続期間の徹底を図ります。

③ 派遣事業の拡大

「シルバー人材センターの適正就業ガイドライン」に基づき、指揮命令が発生する可能性のあるものについては、請負事業から派遣事業への移行を発注者に働きかけます。

4 普及啓発活動の推進

地域に対し、センターの事業内容や事業活動を周知するため、各種媒体や各種団体を通じて市民へのPRに努めます。

① 地域班活動の活性化

合同研修会等により地域委員の資質向上と相互の連携を図ります。

② 地域貢献活動の展開

地域班の協力のもとボランティア清掃やシルバー事業啓発活動を実施します。

③ 広報宣伝活動の充実

「広報きしわだ」への記事掲載を引き続き継続するとともに、市役所や地区公民館にパンフレットを配置し、市民にセンターの役割や公益性をアピールします。

5 事業運営基盤の強化

役員、各委員会、会員及び事務局が連携して、円滑なシルバー事業の運営を推進していきます。

① 役員・会員の意識向上

理事・監事などの役員や会員に対し定時総会、各種講習会、ボランティア活動への積極的な参加を促します。

② 事務局組織の整備

会員と職員とのコミュニケーションを密にするとともに、研修会への参加により職員の資質向上を図ります。

③ 財政基盤の強化

安定的な自主財源の確保のため、受取配分金や会員会費の増収を図り、国・市に補助金の増額を働きかけます。

④ 関係行政機関・諸団体との連携

市役所はもちろん、大阪府シルバー人材センター協議会や他市町シルバー人材センターとの連携を図ります。

⑤ チェック機能強化

定期的に会計事務所による会計監査を実施し、年1回監事による業務監査を実施します。